

週間市場レポート (2022年5月16日～5月20日)

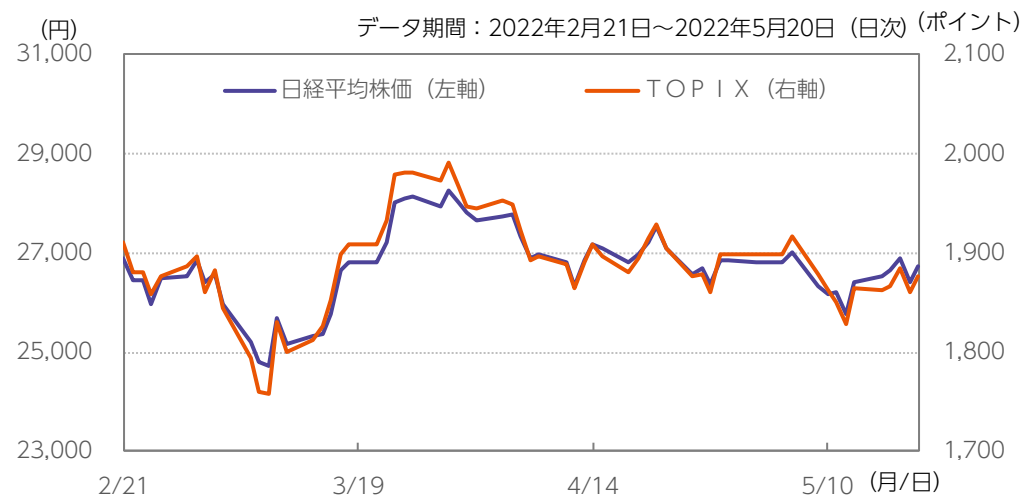
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2022/5/13	先週末 2022/5/20	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)	🇯🇵	26,427.65	26,739.03	1.18 ↗
TOPIX (東証株価指数)	🇯🇵	1,864.20	1,877.37	0.71 ↗
ダウ工業株30種平均 (ドル)	🇺🇸	32,196.66	31,261.90	▲ 2.90 ↘
S & P500種指数	🇺🇸	4,023.89	3,901.36	▲ 3.05 ↘
ナスダック総合指数	🇺🇸	11,805.00	11,354.62	▲ 3.82 ↘
ユーロ・ストックス50指数	🇪🇺	3,703.42	3,657.03	▲ 1.25 ↘
S & P/ASX300指数	🇦🇺	7,061.31	7,137.14	1.07 ↗
上海総合指数	🇨🇳	3,084.28	3,146.57	2.02 ↗
MSCI AC アジア (除く日本)※		815.70	840.67	3.06 ↗
東証REIT指数	🇯🇵	1,971.75	1,983.13	0.58 ↗
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数	🇺🇸	825.40	808.55	▲ 2.04 ↘
ASX300 REIT指数	🇦🇺	1,474.70	1,468.90	▲ 0.39 ↘
グローバルREIT (除く日本)※		195.62	191.20	▲ 2.26 ↘
日本10年国債 (%)	🇯🇵	0.246	0.242	▲ 0.004 ↘
米国10年国債 (%)	🇺🇸	2.919	2.781	▲ 0.137 ↘
ドイツ10年国債 (%)	🇩🇪	0.948	0.944	▲ 0.004 ↘
英国10年国債 (%)	🇬🇧	1.744	1.893	0.149 ↗
ドル/円	🇺🇸	129.22	127.88	▲ 1.04 ↘
ユーロ/円	🇪🇺	134.55	135.03	0.36 ↗
英ポンド/円	🇬🇧	158.45	159.56	0.70 ↗
豪ドル/円	🇦🇺	89.67	90.06	0.43 ↗
フィラデルフィア半導体指数		2,970.37	2,882.65	▲ 2.95 ↘
WTI原油先物 (ドル)		110.49	113.23	2.48 ↗
CRB指数		308.58	312.73	1.34 ↗

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。前週末の米国株式市場で、ハイテク株などグロース（成長）株を中心に大幅高となった流れを受け、値がさ株や主力グロース株を中心に買われ、週初より3日続伸しました。その後は、相次ぐ米大手小売企業の低調な決算を受けた米景気の先行き不透明感の強まりから米国株式市場が大幅下落すると、国内株式市場も下落したものの、週末は、入国規制の緩和など国内の経済活動再開への期待や、大幅下落の反動から見直し買いや自律反発狙いの買いが入り上昇しました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

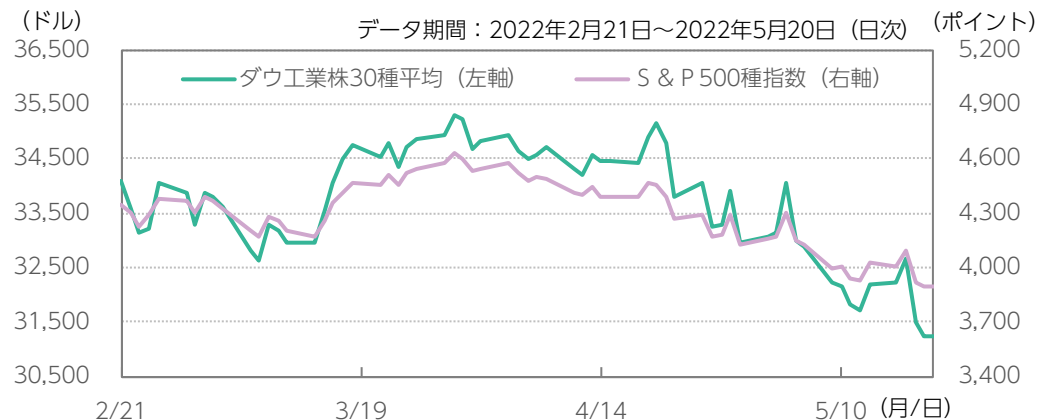
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で横ばいとなりました。米長期金利の先高観は根強く、米長期金利の上昇に連れられ上昇する場面もあったものの、日銀が指し値オペ（公開市場操作）で金利上昇を抑制する姿勢を示していることから、債券相場では持ち高を一方に傾ける投資家は少なく、国内金利は週を通じて動きにくい展開となりました。



3) 米国の株式市場

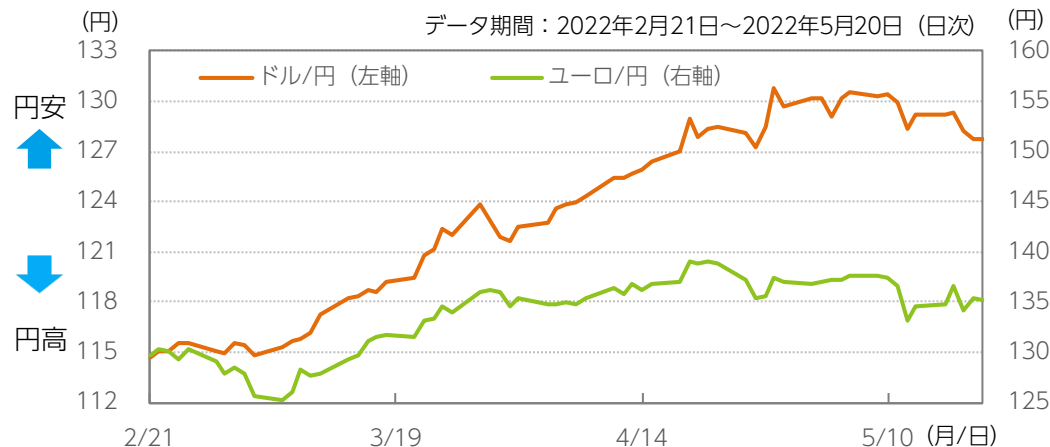
≪ 株式 ≫

米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落しました。4月の米小売売上高で消費の堅調さが確認されると、景気減速への過度な懸念が後退し、週前半は上昇しました。その後は、大手小売企業の相次ぐ低調な決算を受け、景気減速懸念が再燃すると大幅下落し、NYダウは2日連続で年初来安値を更新しました。週末も一時600ドル超下落したものの、大幅下落の反動から引けにかけて買い戻しが優勢となり小幅に上昇しました。週間では8週連続で前週末比で下落となりました。



4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円高米ドル安となりました。金融引き締めの一歩を改めて強調したパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言を機に、米長期金利が上昇すると、日米金利差を意識した円売り米ドル買いが進みました。週中に米国株式市場が大幅下落し、米長期金利が再び低下すると米ドルは売られ、週間では円高米ドル安となりました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、FRBの金融引き締めによる景気減速懸念から日米両市場ともに値幅が大きく落ち着かない相場展開となりました。

FRBの急速な金融引き締めによる景気減速懸念がくすぶるなか、先週、米国を代表する大手小売2社の決算が相次いで市場予想を下回ったことから、インフレが企業収益を圧迫するとの不安が広がり、米国株式市場は大幅下落しました。18日（水）のNYダウは前日比1,165ドル下落、翌19日（木）も企業収益悪化への懸念から下落し、連日で年初来安値を更新しました。インフレの影響が企業活動に影響していることが改めて確認されたことから引き続き米国の強力な金融引き締めへの警戒感が強まっており、株式市場は不安定な展開が予想されます。

今週の株式市場は、5月の米連邦公開市場委員会（FOMC）の議事要旨や米ハイテク企業の決算を確認しながら方向感を探る展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>